



ハロ〜ろうふく協

グッジョブセンターおきなわ
受付担当してます♪

ご自由にお取り下さい!
Vol.19



労福協は、
グッジョブセンターおきなわ

を応援してまいります!

新年のごあいさつ

告知・周知

イベント：おきなわ花と食のフェスティバル2015開催とフリーマーケット出展

セミナー：パソコンセミナー初級編・中級編

企業：協力企業紹介

情報：グッジョブセンターおきなわ(就職・生活)

沖縄「生活困窮者自立支援法」って何だろう?

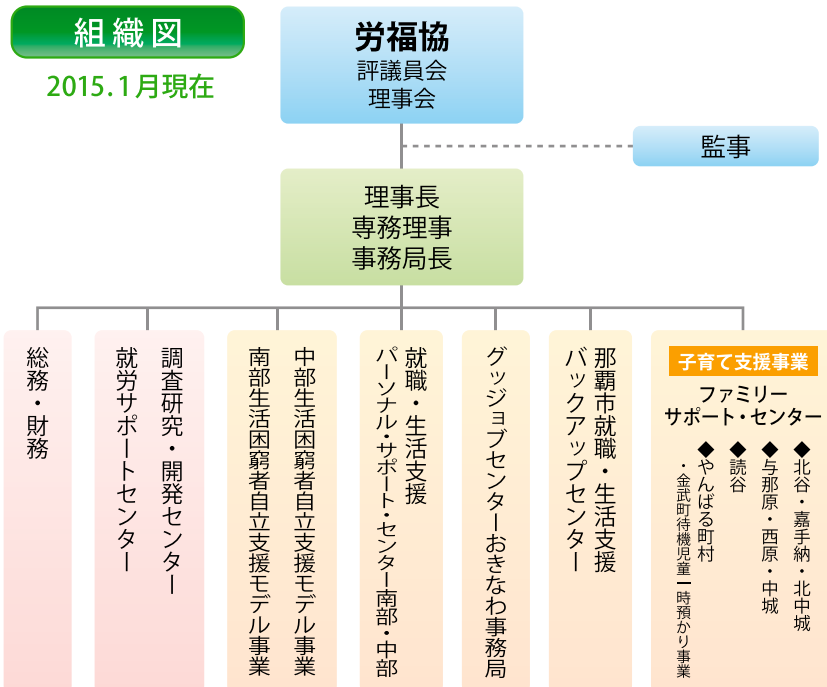
報告

セミナー：食が支える美味しい食卓
就職・自立促進講習(第1回・第2回)

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会

組織図

2015.1月現在



労福協とは

労福協は、沖縄県内の「働く人」へ対する福祉の増進を目指し、日々活動しています。併せて、「働く人」の福祉の向上を目指す団体の自主的な福祉活動の育成を図り、「働く人」また、「自立を目指す人」の社会的、経済的地位の向上に貢献することを目的として取り組んでいます。

その目的を達成するため、「公労使」一体となったワンストップサービスで沖縄県の雇用拡大と雇用の質の向上を目指す、グッジョブセンターおきなわの運営を始め、自主事業である、自立へ向けた一歩を踏み出す支援、就労サポートセンターの運営。国や県、また市町村から受託している、子育て中のお父さん、お母さんを支援、子育て支援事業。就職・生活へ不安や課題を抱えている方への支援、就職・生活支援パーソナルサポートセンターを運営しています。

新年のごあいさつ



公益財団法人 沖縄県労働協

理事長 **大城 紀夫**

新年明けましておめでとうございます。昨年、沖縄にとって激動の1年でした。未来を自主的に切り開いていく沖縄の人々の誇りと尊厳を、はっきりと示した年でもありました。

また、経済面においては円安の進行、株価の値上がりなどで大手企業、輸出産業を中心に業績が大きく回復しました。しかし、はたらく人々の生活は、消費税引き上げに見合う賃金上昇には至っていません。経済の好循環のために、2015春闘での賃上げが期待されます。

さて、労働組合と労働者福祉は労働運動の両輪と言われています。とりわけ労働金庫と全労済は福祉運動の根幹であります。労福協は連合沖縄や労金、全労済が担うことが難しい分野の労働者福祉を担ってきました。

労福協は、労働組合はもとより行政や経営者団体とも連携の取れる立ち位置を生かし、全国的にも注目されている「公、労、

使」一体となった「グッジョブセンターおきなわ」の運営を担っています。沖縄県、労働局、経営者協会、連合沖縄との信頼関係を大切にしながら、着実に事業を進めていきたいと考えています。

沖縄の現状から雇用拡大はまだ大きな課題ですが持続的な社会発展には、雇用の質の向上、働く環境の整備、ILOの提唱するディーセントワーク、いわゆる「働きがいのある人間らしい仕事」の創出が求められています。

今年4月スタートの生活困窮者自立支援制度の実施を、全国のトップランナーとしてより良く着実に実行していくために、地域・現場での課題解決と貧困格差の解消や「奨学金」問題など政策、制度改善、社会運動の両面から取り組んでいきます。働くものの連帯で、労働者福祉運動と労働運動との連携を強固なものとし、職場地域に共助の輪を広げていきましょう。



こんにちは!

**グッジョブセンター
おきなわです!**

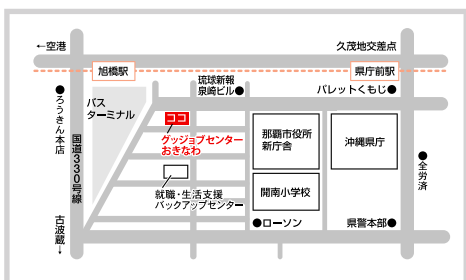
沖縄県全体の雇用情勢または生活の改善を図ることを目的とし、平成24年4月那覇市泉崎に誕生!今年で3年目を迎えます。

長い間就職できずにお困りの方、若年者や高齢者、子育て中の方、生活に不安を抱える方、さらには事業主の方へのサポート役として『国・県・労働団体・経済団体』が一体となって連携し、個々のニーズに対応した様々なサービスや情報を提供するセンターです。

センター来所者数は延べ3万3千人(平成26年12月末時点)と、たくさんの方々にご利用頂いております。那覇市内や近隣市町の方はもちろん中北部や離島、県外にお住まいの方も相談にみえています。今年ももっともっとたくさんの方にグッジョブセンターを知って頂き、より多くの方が『HAPPY&SMILE』となるよう、職員一同誠意対応させて頂きます。

相談は無料です。どうぞお気軽に「来所」ください。

さあ! 『みんなでグッジョブ☆』



問い合わせ：グッジョブセンターおきなわ TEL:098-865-5006
URL <http://www.gjcenter.jp/> ブログ gjcentre.ti-da.net

「生活困窮者自立支援法」って何だろう？

昨年12月に成立した「生活困窮者自立支援法」を存知でしょうか？この法律に基づき、来年4月から、生活保護に至る前のセーフティネットとして、生活困窮者自立支援制度がスタートします。この制度は、病気や失職、離婚といった様々な理由から生活が立ち行かなくなった方々の支援の中枢を担う制度として期待されています。

現在（2015年3月末）は、JN（各市）と沖縄県（このまま市を除く）が対象がモデル事業として実施されていますが、来年度からは、県内11市すべてで実施され、町村部については沖縄県の事業として実施されます。

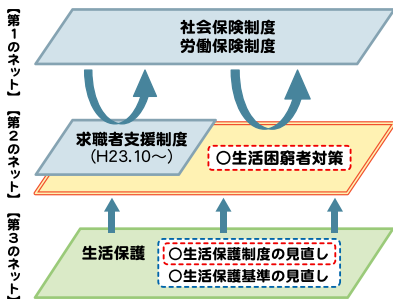
気になるのは事業内容ですが、生活困窮者の方全般を対象に総合的に相談・支援を行う「自立相談支援事業」と、現に住居がないか住居を失う恐れのある方を対象に住居確保のためのお金を給付する「住居確保給付金」は、必須事業としてすべての自治体で実施されます。その他の事業としては、「就労準備支援事業」「一時生活支援事業」「家計相談支援事業」「学習支援事業」などがありますが、これらは任意事業であり、実施されるかどうかは自治体によって異なります。

ところで、そもそもこの「生活困窮者自立支援制度」には従来のセーフティネットを整理統合しつつ充実させようという理念も込められています。セーフティネットには3種類あります。

- 第1のセーフティネット…社会保険制度および労働保険制度
- 第2のセーフティネット…求職者支援制度
- 第3のセーフティネット…生活保護制度

この3つのうち第2のセーフティネットの充実を企図しているのが「生活困窮者自立支援制度」ということになり、困窮の末に生活保護を余儀なくされる人たちがその手前で複合的に手厚く支援して課題の解消に向かうことを目指すわけです。

沖縄県労協は、これまでも労働者福祉の充実を理念に掲げ、働く人たちの自立をさまざまな形で支援してきましたし、「生活困窮者自立支援制度」がはじまってから



【第1のセーフティネット】 【第2のセーフティネット】 【第3のセーフティネット】

企業実習の協力企業紹介

パーソナル・サポート事業で実施している職業訓練にご協力いただいている企業です。

一般社団法人 UTT

文化・お墓事業部 うーとーおきなわ

御社の事業内容を教えてください。

お墓・仏壇事に関すること全般です。墓地建設、清掃、補修や年間管理、所有権調査。お墓行事や年中行事に伴う重箱料理、弁当の仕出し準備も行っています。

また、沖縄戦起因の慰霊塔や歌碑等の清掃、修繕も行っています。

沖縄県より「絆事業」を受託し、就労支援・福祉支援事業所パンフキンも運営しています。

「企業実習」を行っているセクションは何ですか？

主にお墓の清掃や修理。メンテナンス全般業務です。屋内実習では、弁当作り。

「企業実習」を受け入れるようになったきっかけは何ですか？

創業者が六年前に、地域若者サポート・ステーションから若者を受け入れ、慰霊塔の清掃と一緒に行ったことがきっかけです。その中で、様々な課題を抱えた若者が多いことに気づきました。それから、パーソナル・サポート事業からの実習受け入れも始めました。

自立を応援したいという気持ちで実習を受け入れ続けていますが、却ってこちらのほうが助けられ、学ぶこともたくさんあり、感謝しています。

最後に、実習生に伝えたいことはありますか？

健康を常に願っています。うーとー



代表理事 仲田 喜美子

問い合わせ先：就職・生活支援パーソナル・サポート・センター 南部事務所 企業実習担当まで TEL 098-865-5003

フリーマーケット開催

おきなわ花と食のフェスティバル2015へ出展します。

おきなわ花と食のフェスティバルが今年も開催されます。2013・2014年同様、JCCおきなわ（沖縄県協同組合間提携推進協議会）の員としてJA沖縄中央会、沖縄県労働金庫と協力し、今年で3回目の出展になります。

出展へ向けた皆さまのご協力の元、会場は、はじめ、出展ブースも盛り上がること間違いのないので、会場になる奥武山公園へ足をお運びくださいますよう、よろしくお願い致します。

日時 1月31日(土)～2月1日(日)

場所 奥武山公園
(セルラースタジアム那覇周辺)
沖縄県立武道館・駐車場

時間 10:00～18:00(2日間)



JCCおきなわ（沖縄県協同組合間提携推進協議会）

- 沖縄県農業協同組合中央会（JA沖縄中央会）
- 沖縄県漁業協同組合連合会
- 沖縄県農協協同組合
- 全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
- 沖縄県森林協同組合連合会
- 生活協同組合コープおきなわ
- 農林中央金庫那覇支店
- 沖縄県労働金庫
- 沖縄県労働者福祉基金協会
- 沖縄県生活協同組合連合会

職が支える美味しい食卓

～沖縄そば手作り体験と企業講話～

協力企業 株式会社 サン食品

那覇市就職・生活支援バックアップセンターでは、那覇市より委託され「那覇市住宅支援給付業務」を実施しています。「住宅支援給付」とは、離職したことにより住居を失った、または失うおそれのある方を対象として賃貸住宅の家賃を支給するとともに再就職に向けた支援を受けられる制度です。住宅支援給付申請について無料の相談と支援業務を行っています。

実施したセミナー紹介

例サン食品にて、沖縄そば手作り体験と企業講話が開催されました。グループ作業によるそばづくり、そして一同に会食することで、スムーズにコミュニケーションが図れ、参加者の意欲喚起に繋がりました。

企業講話では、企業説明に加えて具体的な求人情報が聞け、さらに就職活動や面接に関する講話もして頂きました。



問い合わせ先 那覇市就職・生活支援バックアップセンター
TEL 098-943-2215

平成 27 年 1 月・2 月開催予定セミナーのお知らせ

平成 27 年 1 月・2 月開催予定セミナー

パソコンセミナー初級編・中級編



内 容

求職活動中のパソコン初心者等を対象に「電源の入れ方」「マウス操作」「文字入力」の基本操作をゆっくりと学んでいくセミナーです。また、中級編として履歴書や職務経歴書をワードやエクセルを使って作成するなど、就職活動に役立つプログラムも予定しています。

実施時期・期間

1 月・2 月の 5～10 日間程度を予定しています。
詳細が決定致しましたら、ホームページにて掲載いたしますので下記の URL をご確認ください。

■ 問い合わせ先：労福協 就労サポートセンター TEL 098-860-7845

【ホームページ】 <http://www.rofuku-okinawa.jp/job/> 【ブログ】 <http://uemablog.ti-da.net/>

就職・自立促進講習 第1回と第2回が開催されました。

今年度の就職・自立促進講習の第1回・第2回が開催されました。この講習は、日常生活の改善が必要だったり、社会生活に必要なコミュニケーション能力に不安を抱えていたり、受講生本人たちが抱えているそれぞれの課題を5週間の講習で克服していきながら、就職や職業訓練へのステップとなることを目的としています。

講習内容は、ウォーキング、花植え作業、フィールド作業、コミュニケーションなどをテーマとし、セミナーや実習を通して、受講生ひとりひとりの変化や成長を促します。講習修了後は、それぞれが次のステップとして職業訓練や企業実習などに進んでいます。

現在(12月2日時点)は、第3回 就職・自立促進講習(11月17日～12月19日)が行われている最中で、受講生それぞれが次のステップへ向けて取り組んでいるところです。



■ 問い合わせ先：労福協 就労サポートセンター TEL 098-860-7845

【ホームページ】 <http://www.rofuku-okinawa.jp/job/> 【ブログ】 <http://uemablog.ti-da.net/>



あ と が き

皆さま、薄々?気が付いているとは思いますが、年が明けています。(笑) 個人的にはあつという間でしたね。それは何故かという、振り返ると色々ありますが、環境の変化、娘が生まれたことが大きいのかなと思います。夜泣きもしかり、抱っこしないと寝なかったり、そして腰痛をぶり返したり。子育ては大変なんだと改めて感じた一年でした。いつも頑張っている、嫁さんに感謝の気持ちを込め、今年の目標は、子育てを更に頑張ります。ですので、財布の紐を緩めていただけたら幸いです!! (願い)



支えあうことの
安心を、広げたい。

- こくみん共済
- 総合医療共済
- せいのめい共済
- おんきん共済

全労済は、営利を目的としない保障の団体として、保障のことなら
全労済
この印刷物は、ESPAのシルバー基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
ESPA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>